

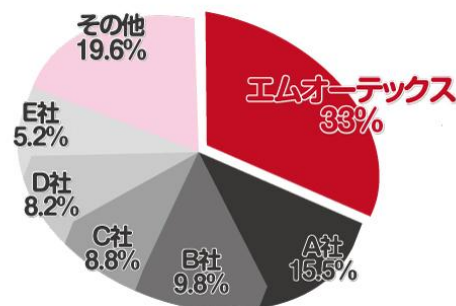
～導入実績 7,500 社の IT 資産管理・ログ監視ツール～

## LanScope Cat

「IT 資産/PC 構成管理ソフトウェア」

市場シェア 33% 10 年連続トップシェア獲得！

■IT資産/PC構成管理ソフトウェア 市場占有率(金額) 2013年度



富士キメラ総研「2014ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」

エムオーテックス株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：河之口達也、以下 MOTEX）のネットワークセキュリティ統合管理ツール“LanScope Cat（ランスコープ キャット）”が、株式会社富士キメラ総研（以下、富士キメラ総研）が 2014 年 10 月 10 日（金）に発表した「2014 年ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 上巻」の「IT 資産/PC 構成管理ソフトウェア」分野において、市場シェア 33%（※1）でトップシェアを獲得したことを発表します。これにより、“LanScope Cat” は 2004 年度以来、同市場で 10 年連続のトップシェア獲得となります。

“LanScope Cat”は、多くの企業が抱える IT 資産管理や情報セキュリティ対策の課題を解決し、企業成長をサポートするセキュリティツールです。1996 年の発売以来、時代のニーズに応じて進化しつづけ、その結果多くの企業から信頼いただき、2014 年 10 月時点で 7,500 社（※2）に導入いただいております。

今回の結果は、お客様の使いやすさを追求しすべての操作を 3step で行えるコンソールの一新に加え、クラウド基盤対応、海外 OS 対応、Mac OS 対応などの環境拡張、ライセンス監査対応を支援する「SAM 診断サービス」、社員への情報セキュリティ研修を実施する「社員教育サービス」、LanScope Cat で収集した情報を分析しコスト削減や業務改善をご提案する「クライアント診断サービス」など、機能・サービスの充実が評価され導入が拡大したことによるものと考えます。今後も MOTEX は、お客様の満足度を高めていけるよう、より質の高い製品開発やサービスの提供に努めて参ります。

※1：当リリースに記載されている市場シェアの数値に関しては、富士キメラ総研が発行している「2014 年ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 上巻」に記載された内容を引用したものです。MOTEX による自社集計は行って

おらず、富士キメラ総研に引用の許可を得た上で発表しています。

※2：MOTEX 調べ

## ■ご参考：“LanScope Cat Ver.8.1” 11 月末リリース！

社会的問題となる企業の情報漏えい。時代とともに多様化する情報漏えいに対応すべく、MOTEX では、“LanScope Cat”の最新バージョン“LanScope Cat Ver.8.1”を 2014 年 11 月末にリリースします。“LanScope Cat Ver.8.1”は「スマートフォンからの情報漏えい対策強化」、「Mac OS の統合管理によるシームレスなクライアント管理」、「WSUS 連携によるセキュリティ・パッチの運用」、「30 件以上の既存顧客からのリクエストに対応」の 4 点を徹底強化。クライアント環境の変化に対応するバージョンアップにより、企業の情報漏えい対策に貢献していきます。

■“LanScope Cat Ver.8.1” サイト URL：<http://www.motex.co.jp/sp/catver8/index.html>



## ■エムオーテックスとは

MOTEX は、ネットワークシステム管理・ネットワーク情報漏えい対策商品 LanScope シリーズの企画・設計・開発から販売を一貫して行っているメーカーです。MOTEX は、今後もお客様の企業利益を創出するセキュリティ対策をご提案します。

社 名：エムオーテックス株式会社

所 在 地：〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-12-12 エムオーテックス新大阪ビル

代 表：代表取締役社長 河之口達也

事 業 内 容：自社商品“LanScope シリーズ”の企画・設計・開発・販売

資 本 金：2,000 万円

U R L：<http://www.motex.co.jp/>